

教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	高 継芬 (コウ・ケイフン)
連絡先メールアドレス	jyfen@kyushu-nu.ac.jp
役職・職名	専任講師
所属	基礎・教養教育研究センター
略歴	1996 年 3 月 福岡大学人文学部日本語日本文学科 卒業 1998 年 3 月 福岡大学大学院 日本語日本文学専攻博士課程前期 修了 1998 年 4 月 九州看護福祉大学 看護福祉学部 社会福祉学科助手 2007 年 4 月 九州看護福祉大学 看護福祉学部 社会福祉学科助教 2013 年 4 月 基礎・教養教育研究センター助教 2019 年 5 月 基礎・教養教育研究センター専任講師(現在に至る)
取得学位	文学博士(文学) 新羅大学 2018 年 8 月
担当科目	文学 比較文化論・中国語会話Ⅰ 中国語会話Ⅱ アカデミックスキルズ(オムニ) ・看護政策論(オムニ)・国際協力論(オムニ)
専門分野	文学 比較文化
所属学会	日本比較文学会 東アジア日本語教育・日本文化研究学会
現在の研究テーマ	漱石が中国文学及び西洋文学から受けた影響
教育・研究業績 (著書・学術論文等)	著書 『夏目漱石東洋と西洋の狭間で』 梓書院 2021年3月31日発売 学術論文 原 著： 「鬼」という字の構造・和訓・意味について九州看護福祉大学紀要Ⅴ o 1 24 NO.1 令和5年度 P2～11 夏目漱石の「個人主義」の形成について- アメリカ民主主義思想の影響から探る -令和4年度東アジア日本語教育・日本文化研究学会学会誌 令和4年度学会誌 第26号 - 夏目漱石の思想形成について―「自ら意見を言う」を解く―令和3年度東アジア日本語教育・日本文化研究学会学会誌 令和3年度学会誌 第24・25合併号 - 大伴家持と『詩経』―『万葉集』と『詩経』の防人歌を中心に―東アジア日本語教育・日本文化研究学会学会誌 H29年度学会誌 第二十一号 P21～46 - 日本と中国の伝統的文学に関する考察―万葉集の「防人歌」全唐詩の「返塞詩」の忠君愛国歌の比較を通して―九州看護福祉大学紀要 V o 1 18 平成30年度 P15～28. 『詩経』と『万葉集』の「防人歌」に現れた政治思想。 東アジア日本語教育・日本文化研究学会 H28年度学会誌 第一八号 P207～228. 「漱石作品『草枕』に見える漢文学の投影」

	東アジア日本語教育・日本文化研究学会 国際学術大会H25年度学会誌 第一七輯 P519～532. 7. 「漱石作品が漢文学から受けた影響」単著 平成25年3月 九州看護福祉大学紀要Vol.14平成25年度 No.1 P3～13. 8. 漱石「個人主義」思想の自恃論的要素—アメリカ超越主義からの影響を探る— 九州看護福祉大学紀要Vol.13 平成24年度NO.1P45～56高 継芬.山本 孝司 9. 「中国における社会保障」—軍有士、樊啓榮『社会保障』を中心に—九州看護福祉大学紀要Vol.1平成10年度No.(1), 275～280 研究報告： 1. 万葉集にみる「防人」に関する考察 九州看護福祉大学紀要 Vol.17平成28年度 No.1 P35～45. 2. 夏目漱石の英国留学における負の要素 —「下宿」「過去の匂い」と「霧」「昔」を通して— 九州看護福祉大学紀要 Vol.14平成26年度 No.1 P45～55. 3. 「夏目漱石の「私の個人主義」から見出す社会福祉思想」 九州看護福祉大学紀要 Vol.14平成25年度 No.1 P61～70. 4. 「中国高齢者の生活実態」：滄萍ほか編『社会老年学』抄訳 九州看護福祉大学紀要 Vol.4 平成 13 年度 No.(1), 287～2932002
社会活動・社会貢献	社会貢献： 1. 令和 5 年度玉名圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会委員令和 6 年度続く 2. 国際ソロプロプチスト会員(1月に入会) 3. 玉名国際交流協会会員・理事 4. 令和1年 7 月教員免許状更新講習会の必修選択分野で「国際教育・異文化理解」を担当した。 5. 令和 1 年本学主催した市民向けの公開講座の中の中国の文化について講義を担当した。 6. 平成 30 年 7 月教員免許状更新講習会必修選択分野で「国際教育・異文化理解」を担当した。 7. 平成 30 年 6 月玉名ロータリクラブに依頼されて異文化の理解について講演を行った。 8. 平成 29 年 12 月本学が主催した市民向けの公開講座の中の中国の文化について講義を担当した。 9. 平成 29 年 7 月教員免許状更新講習会必修選択分野で「国際教育・異文化理解」を担当した。 10. 平成 27 年 9 月 5 日～9 日までの五日間、本学の職員 13 名の視察団と共に姉妹校の河北対外経貿職業学院(当時:河北外国語職業学院)に視察の際通訳として参加し、両大学の学術交流、教員交流、学生交流について協議の際、通訳として尽力した。 11. 平成 26 年 6 月 2 日～4 日までの二日間、志賀学長を始め、高木常務理事 3 人で河北外国語職業学院を訪問する際、全行程に付き添った。6月2日に河北外国語職業学院大学で九州看護福祉大学と河北外国語職業学院の学術交流の具体的な教員間及び学生間の交流に関する調印式を行った際通訳として貢献した。 12. 平成 26 年 1 月 15 日～16 日の二日間、河北外国語職業学院の訪問団が本学を訪問する際、全行程に付き添った。1 月 16 日に本学で九州看護福祉大学と河北外国語職業学院との学術交流に関する調印式を行った際に通訳として貢献した。 13. 平成 24 年 5 月、玉名市が中国の姉妹都市瓦房店市を訪問する際通訳として参加した。その後本学の通訳として北京経由で河北外国語職業学院を訪問し本学との姉妹校締結の可能性について協議を行った際、通訳の役割を果たした。 14. 平成 24 年 6 月 9 日(土)～10 日(日)日本地域福祉学会第 26 回大会(熊本大会)〈大会総合テーマ〉「新たなコミュニティの創造と地域福祉の課題—受苦から

	の再生」当日実行委員として大会が円滑に行われるよう、発表者や会場責任者とボランティア間の連絡係や会場の設営準備等に貢献した。 15. 平成 24 年 8 月 30 日(木)～31 日(金)日本職業リハ学会第40回熊本大会テーマは“地域新時代”における職業リハビリテーションー地域における検証と地域からの発言ー本大会の実行委員として参加。本学で初めての開催であり、半年前から実行委員会を定期的に行なっており、開会に向けて準備を行った。その中で、ボランティアの募集、人員配置、そして懇親会を企画した。本学の学生のボランティア活動は活発化しているため、順調に各部署に配置できた。 16. 地域貢献委員会委員として平成 21 年～平成 22 年の 2 年間、玉名市が主催した「地域健康福祉フェア」の準備から開催日まで関わった。 17. 平成 23 年 2 月から 1 年間 玉名市が主催した国際交流事業の一環として、一般市民参加型の中国の姉妹都市瓦房店市への公式訪問の準備に関わった。 18. 平成 21 年～平成 22 年の 2 年間、地域福祉街づくりの一環として南関町社会福祉協議会の社会福祉塾に参加し、そこが主催した高齢者訪問調査に関わった。 19. 平成 19 年～平成 21 年の 2 年間、玉名市市役所の職員に対する中国語講座を実施した。
--	---